

第 62 回 緑化推進運営協議会

議 案 書

と き 令和 5 (2023) 年 5 月 23 日 (火)

ところ おおさか A T C グリーンエコプラザ内

セミナールーム (ITM 棟 11 階)



公益財団法人 大阪みどりのトラスト協会

目 次

1. 第 1 号議案

令和 4(2022)年度「緑の募金」事業報告について	P1
----------------------------	----

2. 第 2 号議案

令和 4(2022)年度「緑の募金」収支決算について	P16
----------------------------	-----

巻末資料

- ・貸借対照表（案）（2023 年 3 月 31 日現在）
- ・正味財産増減計算書内訳表（案）（2022 年 4 月 1 日から 2023 年 3 月 31 日まで）

令和4(2022)年度「緑の募金」事業報告について

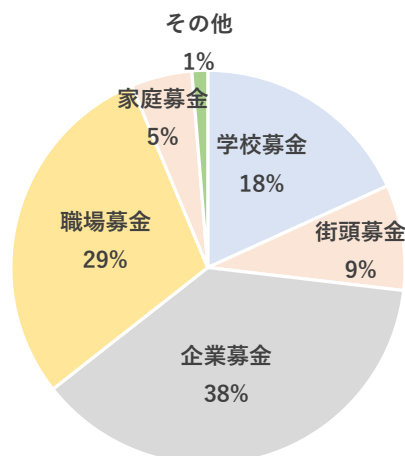
〔 予算 収入 17,000 千円、支出 18,330 千円
決算 収入 16,809 千円、支出 17,185 千円 〕

I. 収入の部

令和4(2022)年度の収入総額は、予算 17,000 千円に対し、16,809 千円となった。(雑収入 48 千円を含む)

内訳は次の表、グラフのとおりである。

令和4(2022)年度収入の内訳	
種類別	金額(千円)
学校募金	3,055
街頭募金	1,448
企業募金	6,302
職場募金	4,895
家庭募金	841
その他	221
雑収入	48
合計※	16,809

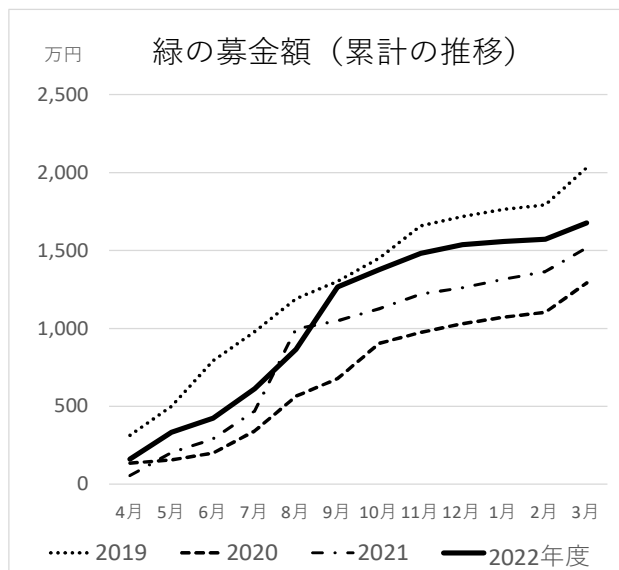
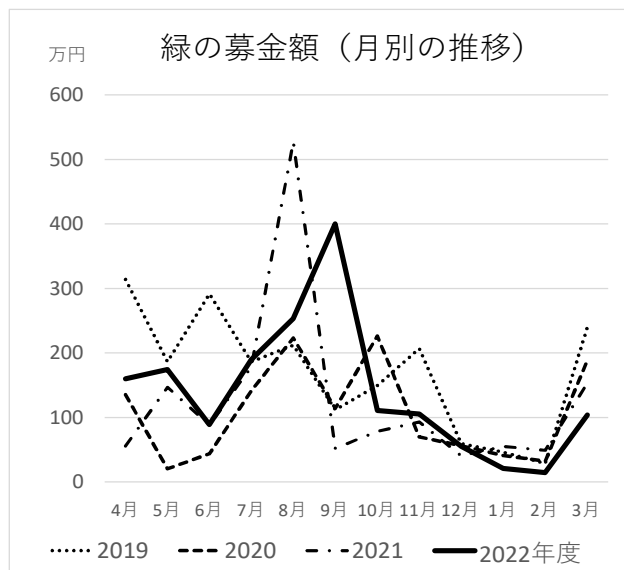


※ 円グラフは、割合が0%の科目は表示していない

1. 緑の募金実績(予算 17,000 千円、決算 16,761 千円)

新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により、職場募金、学校募金、街頭募金など募金活動の縮小を余儀なくされたが、前年度と比べると110%と回復傾向を示し、コロナ前の2019年度の82%となった。

種類別の推移をみると、企業募金はコロナ前を上回る増加傾向が見られた。職場募金はコロナ前の9割程度に回復し増加傾向が見られる。学校募金は前年をわずかに下回りコロナ前の7割程度となった。街頭募金はコロナ前の5割程度まで回復し増加傾向が見られた。

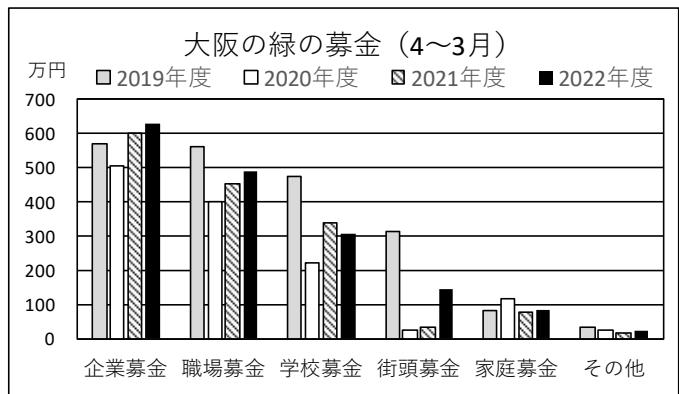


令和4(2022)年度募金額の推移

募金額の種別推移

種別	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
企業募金	5,690,461	5,060,419	6,006,950	6,301,585
職場募金	5,631,482	4,017,907	4,525,406	4,894,790
学校募金	4,735,968	2,199,426	3,372,224	3,055,356
街頭募金	3,119,858	224,014	338,507	1,447,588
家庭募金	798,425	1,159,011	763,336	840,910
その他	340,646	252,809	168,173	220,821
総計	20,316,840	12,913,586	15,174,596	16,761,050

表中の数字は金額（円）



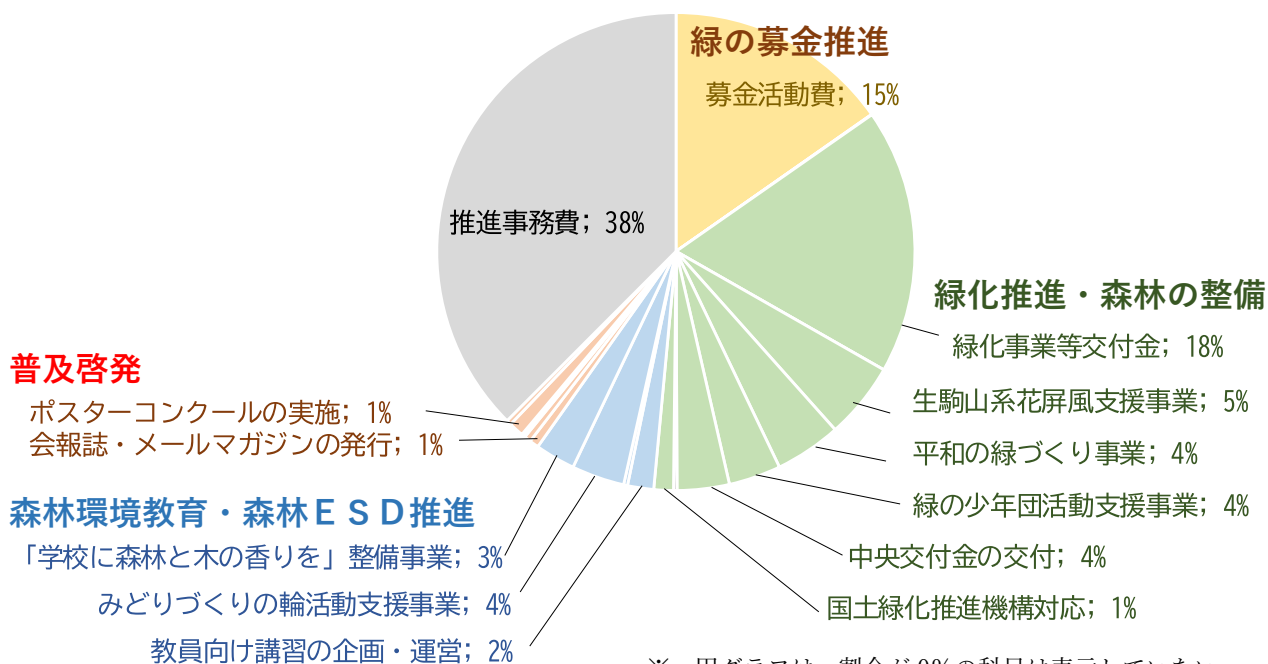
2. 雑収入(予算 0 千円、決算 48 千円)

緑化事業等交付金の返金、令和4年度近畿地区緑化推進協議会総会の会議運営費支給、天皇陛下ご下賜金（記念植樹費用支給）の雑収入があった。

Ⅱ. 支出の部

令和 4（2022）年度の事業支出総額は 17,185 千円となった。その内訳は次の表、グラフのとおりである。

	科 目	金額(千円)	割合(%)
緑の募金推進事業	募金活動費	2,625	15
	募金拡大	4	0
緑化推進・ 森林の整備事業	緑化事業等交付金	3,083	18
	堺第 7－3 区「共生の森づくり」推進費	0	0
	生駒山系花屏風支援事業	888	5
	平和の緑づくり事業	769	4
	緑の少年団活動支援事業	605	4
	中央交付金の交付	608	4
	緑化推進運営協議会の運営	35	0
	募金・緑化功労者の表彰	6	0
	国土緑化推進機構対応	225	1
	教員向け講習の企画・運営	305	2
森林環境教育・ 森林 E S D 推進事業	研究会等への参加、イベントの開催	46	0
	みどりづくりの輪活動支援事業	613	4
	「学校に森林と木の香りを」整備事業	467	3
	会報誌の発行・メールマガジンの発行	108	1
普及啓発事業	ホームページ・SNS の運営	77	0
	普及啓発イベントへの参加	45	0
	ポスターコンクールの実施	175	1
	その他	56	0
	推進事務費	6,444	38
合計		17,185	100



1. 緑の募金運動推進事業(予算 2,602 千円、決算 2,629 千円)

(1) 募金活動費(予算 2,592 千円、決算 2,625 千円)

①募金資材の整備

【計画】

緑の募金運動および普及啓発の円滑な推進を図るため、2022 年秋用および 2023 年春用の募金資材を整備し、活用する。

【実績】

2022 年秋用および 2023 年春用の募金資材を整備した。(緑の羽根、緑化バッジ、P R チラシ、ポスター、募金箱)

緑化バッジは、過去 2 年間はコロナ禍で製作数を削減した。引き続き過去のバッジを有効活用することを前提にしつつ、街頭募金等の再開を見込んで、昨年度よりやや数を増やして製作した。



2022 秋バッジ
(キキョウ)



2023 春バッジ
(スイセン)

(製作数)

2019 秋	2020 秋	2021 秋	2022 秋
カツラ	—	カキ	キキョウ
5,000	0	3,170	4,000

2020 春	2021 春	2022 春	2023 春
ツクシ	キイチゴ	ケヤキ	スイセン
13,000	7,000	6,000	6,500

②募金の呼びかけ

【計画】

2022 年度の募金目標額を 17,000 千円とし、以下の団体へ協力依頼し、街頭募金、学校募金、家庭募金、職場募金、企業募金等の募金を呼びかける。

【実績】

街頭募金、学校募金、家庭募金、職場募金、企業募金等の募金を呼びかけた。

<キャンペーン期間> ・春季 2022 年 3 月 1 日～ 5 月 31 日
・秋季 2022 年 9 月 1 日～10 月 31 日



大阪府庁舎本館



大阪府庁舎別館



ATC

(2) 募金拡大(予算 10 千円、決算 4 千円)

【計画】

- ・企業の社会貢献活動（CSR）への考え方が成熟している中、企業からの提案・要望にも応えていく。
- ・キャッシュレス募金、WEB から募金ができる「つながる募金」※1 や家庭に眠る物品の寄付「お宝エイド」※2、遺贈による寄付、など、募金方法の多様化に向けた仕組みづくりに取り組み、ホームページやイベント等で周知し、普及啓発を図る。

【実績】

大丸心斎橋店（大阪市中央区）より環境関連取組の一環として 緑の募金チャリティー企画提案があり、9 月 28 日～10 月 18 日に開催された。当協会から緑の募金の説明資料や店頭での対応マニュアル等を提供し、大丸松坂屋ポイントや現金による緑の募金の受付と、秋のピンバッジの配布が行われた。また、2023 年 3 月～4 月に第 2 回目の企画が開催された。

キャッシュレス募金については、(公社) 国土緑化推進機構が全国の緑の募金団体とともに PayPay 及び auPay を利用した募金の開始に向けた取り組みを行っていたが、金融庁への手続きが進まないことが同機構より報告され、全国的に滞っている。2023 年度の開始は難しい状況である。

募金方法の多様化を進めるため、WEB から募金ができる「つながる募金」※1 や家庭に眠る物品の寄付「お宝エイド」※2、2020 年より開始した遺贈募金 (JELF「みどりの遺言」プロジェクト) を継続している。

企業募金の拡大を目的として、過年度から継続的にご協力いただいている企業様のうち 2 社 3 部署へ、今後の展開に向けた意見を伺った。

音楽集団 ANKAA のコンサート会場における募金が 2020 年から継続している。2022 年度は 6 月、11 月、3 月に行われ、募金の呼びかけを行った。



大丸心斎橋店案内所における募金箱（写真上）と設置状況（写真下）

※1 つながる募金：ソフトバンク契約者が携帯料金支払い時に募金もできる仕組みで、ソフトバンク契約者以外もインターネットから募金できる。

※2 お宝エイド：不用品を回収業者へ送ってもらい、買い取られた金額の一部が募金となる仕組み。

2. 緑化推進・森林の整備事業(予算 7,190 千円、決算 6,220 千円)

(1) 緑化事業等交付金(予算 3,230 千円、決算 3,083 千円)

【計画】

募金活動に協力した団体や学校、企業による地域や学校の緑化を推進するため、集められた募金額の 40%を上限に、該当団体の申請に基づき緑化事業等交付金を交付する。

【実績】

該当団体の申請に基づき緑化事業等交付金を交付した。

・ 2022 年 2 月～2023 年 1 月振込分まで 304 件 3,059,976 円

(参考：2021 年 2 月～2022 年 1 月振込分まで 280 件 2,724,901 円)



緑化事業等交付金による緑化活動の様子

(2) 堺第7-3区「共生の森づくり」の推進(予算 270 千円、決算 0 千円)

【計画】

地球温暖化防止にかかる運動の一環として、堺第 7-3 区における市民・NPO 等の府民参加で実施されている「共生の森づくり」活動へ助成する。

【実績】

市民・NPO 等の参加で例年 3 月に実施されていた「共生の森づくり」イベントは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により 2020 年度、2021 年度は中止となった。2022 年度は規模を縮小して開催されたが、企業からの寄付申込みがなく、助成は実施しなかった。

(3) 生駒山系花屏風支援事業(予算 1,200 千円、決算 888 千円)

【計画】

生駒山系を屏風に見立てて彩豊かな“花屏風”を作る「生駒花屏風支援事業」への助成を行う。同事業を推進する生駒山系森づくりサポート協議会の活動や主催行事に参加し、緑の募金の PR を行う。

【実績】

生駒山系を屏風に見立てて彩豊かな“花屏風”を作る「生駒山系花屏風構想」を支援するため、大

阪商工信用金庫からの募金を原資として5団体への助成を行った。申請金額は予算額を下回った。例年開催の花屏風ハイキングは、新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により 2020 年度、2021 年度は中止となっていたが、10 月に開催され、緑の募金の呼びかけを行った。

生駒山系花屏風構想は 2008 年に開始され、2022 年までの 15 年間で目標の 1 万本植樹を達成した。2023 年度以降も事業の見直しをはかりつつ継続する予定である。



活動風景



募金の呼びかけ

(4) 平和の緑づくり事業(予算 640 千円、決算 769 千円)

【計画】

大阪府内の平和堂店舗の有料レジ袋の収益金の一部からなる寄付を活用し、学校や幼稚園、保育園などで身近な緑づくり（植樹と「緑の教室」の開催）を推進する。

【実績】

株式会社平和堂からの寄付額が予算を上回ったため、採択件数を増やし 5 件を採択して実施した。11 件の申請があり、書類審査および厳正な抽選をおこなった。

実施園名	所在地	実施日	植樹・本数	参加者数
こだまこども園	泉佐野市	11 月 14 日	ケヤキ 1 本、オリーブ 1 本	24 名
むつみこども園	大阪市	11 月 17 日	ジンチョウゲ 3 本、クルメツツジ 3 本、ハクチョウゲ 3 本、クチナシ 1 本、ヤブラン 3 本、ヒラドツツジ 2 本	約 50 名
しまもと里山認定こども園	島本町	12 月 10 日	クヌギ 1 本	50 名
ひかりの子幼稚園	交野市	12 月 22 日	クヌギ 1 本	26 名
こもれびのもり認定こども園	豊中市	3 月 7 日	クヌギ 1 本	30 名



植樹



緑の教室



緑の教室

(5) 緑の少年団活動支援事業(予算 1,050 千円、決算 605 千円)

【計画】

子どもたちが緑や自然に触れ、森林や緑化に関する意識が高められるよう、大阪府緑の少年団連盟に対して活動助成を行う。今年度は直近 2 年間開催できなかった交流集会を開催する。

【実績】

大阪府緑の少年団連盟の 4 団に助成を行った。6 月に開催された「第 72 回全国植樹祭しが 2022」に連盟を代表して池上心稜成さん(羽曳野市緑の少年団)が参加し、記念植樹を行った。

例年行っている交流集会及び指導者情報交換会は新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により中止となった。



羽曳野市緑の少年団活動報告



全国植樹祭の様子



大阪府緑の少年団連盟総会

(6) 中央交付金の交付(予算 590 千円、決算 608 千円)

【計画】

(公社)国土緑化推進機構に対して、中央交付金(広域的な森林整備や緑化の推進に活用される)として緑の募金の 2%相当額に 250 千円を加えた額を交付する。

【実績】

緑の募金(17,971 千円、2022 年次 1~12 月実績)の 2%相当額に 250 千円を加えた額(608 千円)を交付した。

(7) 緑化推進運営協議会の運営(予算 24 千円、決算 35 千円)

【計画】

緑の募金の適切な運用を図るため有識者からなる緑化推進運営協議会を年 2 回以上開催する。

【実績】

2 回の緑化推進運営協議会を開催した。

- ・ 第 60 回緑化推進運営協議会：対面開催 5/27
- ・ 第 61 回緑化推進運営協議会：対面開催 2/28



緑化推進運営協議会の様子(5月)

(8) 募金・緑化功労者の表彰(予算 6 千円、決算 6 千円)

【計画】

(公社) 国土緑化推進機構等に対して、募金・緑化功労者等の推薦を行うとともに、表彰を行う。

【実績】

3 年間の募金額をもとに、4 団体を (公社) 国土緑化推進機構に推薦し、感謝状を贈呈した。

- ・ 林野庁長官賞 (3 年間の合計が 200 万円以上) :

株式会社平和堂、ダイドードリンコ株式会社、大阪府警察有志一同

- ・ 国土緑化推進機構理事長賞 (同 50 万円以上) :

大阪商工信用金庫有志一同

「大阪府みどりの功労者」として当協会が推薦した田中正視 (たなかまさみ) 氏 (和泉葛城山ブナ林保護増殖検討委員会委員) が表彰された。「大阪府みどりの功労者」は、緑化の推進、自然環境の保全及び森林の保全に功績のあった個人または団体を表彰するもので、和泉葛城山ブナ林保護増殖検討委員会委員として 33 年間、環境省自然公園指導員として 34 年間の長きにわたる自然環境保全活動の功績が認められた。



感謝状の贈呈 (2023 年 2 月)

ダイドードリンコ様 (左)、大阪商工信用金庫様 (右)

「大阪府みどりの功労者」表彰式 (5 月)

副知事から授与 (左)、活動の話をする田中氏 (右)

(9) 国緑(国土緑化推進機構)対応(予算 180 千円、決算 225 千円)

【計画】

(公社) 国土緑化推進機構の推進する事業に協力する。

【実績】

国土緑化推進機構年会費 (120 千円)、全国緑化推進委員会連絡協議会負担金 (10 千円) の支出があった他、以下の支出があった。

近畿圏 (奈良県、京都府、三重県、滋賀県、兵庫県、和歌山県、大阪府) の緑の募金推進団体が年 1 回開催する「近畿地区緑化推進協議会総会」を運営した。

開催日 : 10 月 21 日 (金)

開催場所 : ATC ビルグリーンエコプラザ内セミナールーム



近畿地区緑化推進協議会総会 (5 月)

内容：各府県からの報告・質疑応答

（公社）国土緑化推進機構からの連絡・説明事項

見学会（グリーンエコプラザ）および意見交換会

天皇陛下ご下賜金を活用し、三草山ゼフィルスの森（能勢町）において記念植樹を実施した。植栽木の選定にあたっては生物多様性の観点から地元能勢町に生育する苗木を個人から寄贈を受け植栽した。

実施日：2023年3月21日（火・祝）※三草山ウォーキングイベントと併催

植樹場所：三草山ゼフィルスの森（能勢町）

植樹木：エノキ2本（国蝶オオムラサキの幼虫の餌となる樹種）

参加者：能勢町産業建設部地域振興課課長、大阪みどりのトラスト協会会長

一般参加30名

当該地はシカによる植物の食害が発生する場所のため、植樹場所周囲に防鹿柵を設置した。



植栽、水やり



樹名板の設置



記念撮影

3. 森林環境教育・森林 ESD の推進(予算 1,540 千円、決算 1,430 千円)

(1) 教員向け講習の企画・運営(予算 300 千円、決算 305 千円)

【計画】

大阪教育大学、大阪府森林組合、大阪森林インストラクター会等と連携し、2021 年度に準備を進めた教員向け講習を実施する。募集人数は 20 名程度を予定。コロナ禍に対応するため、オンライン開催が可能なプログラム構成とする。

【実績】

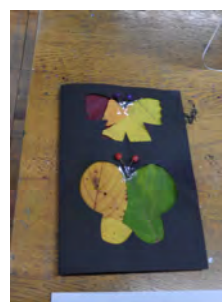
2019 年度より検討・準備を進めてきた教員向け講習の全体カリキュラム、講習内容、教材等を活用し、8 月に東部社会科研究会（河南町・太子町・千早赤阪村の公立小学校教員の研究会）のメンバーを対象に「どこでもできる森林 ESD」研修を実施した。また、大阪森林インストラクター会と連携し、大阪教育大学において、「図画工作」授業の時間を活用し、1 回生の学生を対象に森林 ESD 体験講座を実施した。



東部社会科研究会研修の様子



大阪教育大学講座の様子



(2) 研究会等への参加、イベントの開催(予算 100 千円、決算 46 千円)

【計画】

(公社)国土緑化推進機構や関係団体とともに、森林 ESD の推進に向けた研究会・勉強会に参画する。また、森林環境教育・森林 ESD の普及啓発を目的としたパネル展を開催する。

【実績】

近畿中国森林管理局「森林（もり）のギャラリー」（大阪市北区）において、7月13日（水）～8月4日（木）の期間中、令和4年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールの大阪での入賞作品の展示とともに、「学校に森林と木の香りを」整備事業等の2021年度に行われた事業の紹介を「子どもたちにもっとみどりを～緑の募金を活用したみどりづくりや木の利用を進めるための活動支援～」と題しパネル展示を行った。



近畿中国森林管理局「森林（もり）のギャラリー」展示の様子

(3) みどりづくりの輪活動支援事業(予算 520 千円、決算 613 千円)

【計画】

子どもたちによる生物多様性につながる自然環境保全活動、森林整備活動、校庭・園庭等の緑化やビオトープの整備等に助成する。また、これらの活動組立てや整備計画立案にあたり、専門家による助言を得られるよう、専門家の紹介や相談時の費用助成などの支援を行う。

【実績】

予算枠3件に対して9件の申請があり、助成金配分を検討して、審査の結果4件を採択した。

専門家相談費用助成については、5件の申請があり、審査の結果5件を採択した。助成した専門家相談のうち4件が、当協会の助成事業へ申請し、実施された。

団体名	活動の種類	活動の概要	専門家相談
貝塚市立津田小学校	ビオトープ整備活動	ビオトープの整備	実施
河内長野市立石仏小学校	森林整備活動	学校内里山林の整備、間伐体験	－
大阪府立長野高等学校	森林整備活動	学校内里山林の整備	－
枚方市立樟葉小学校	ビオトープ整備活動	ビオトープの整備	実施



貝塚市立津田小学校



河内長野市立石仏小学校



大阪府立長野高等学校



枚方市立樟葉小学校

(4)「学校に森林と木の香りを」整備事業(予算 620 千円、決算 467 千円)

【計画】

子どもたちが国産木材の利用や緑の効用について理解を深めるため、教育施設の木質化や森林に関する学習の実施に対して助成する。

【実績】

予算枠 3 件に対して 3 件の申請があり、審査の結果 3 件を採択した。申請額が少なかったため予算との差異が発生した。

団体名	活動の種類	活動の概要	専門家 相談
千早赤坂村立千早小吹台 小学校	森林ESDの実施	木材市場などの見学、出前授業	実施
泉南市立鳴滝小学校	森林ESDの実施	出前授業、木工体験	実施
大阪市立聖和小学校	森林ESDの実施	出前授業、木工体験	—



千早赤坂村立千早小吹台小学校



泉南市立鳴滝小学校



大阪市立聖和小学校

4. 普及啓発事業(予算 498 千円、決算 462 千円)

(1) 会報誌・メールマガジンの発行(予算 135 千円、決算 108 千円)

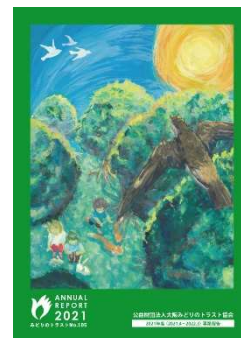
【計画】

会報誌は年 1 回の年次報告形式で発行し（6 月予定）、ホームページ掲載を行う。メールマガジンはイベント情報や活動報告等を定期的に配信する。

【実績】

会報誌「ANNUALREPORT2021（みどりのトラスト）」を発行した（7 月）。

メールマガジンは、月に 1 回、約 500 の団体や個人に定期配信し、最新の話提供とホームページへの誘導を促した。



会報誌

(2) ホームページ・SNS の運営(予算 116 千円、決算 77 千円)

【計画】

緑の募金のキャンペーン情報や助成事業についてタイムリーにお知らせする。また募金が活用された事業報告などを随時更新する。SNS・メールマガジンと連動し、広く活用内容が伝わるよう発信する。

【実績】

ホームページは、緑の募金のキャンペーン情報や助成事業についてタイムリーにお知らせし、募金が活用された事業報告等を掲載した。SNS・メールマガジンと連動し、広く活用内容が伝わるよう発信した。

(3) 普及啓発イベントへの参加(予算 44 千円、決算 45 千円)

【計画】

緑の募金を活用して進める「生物多様性の保全」、「木材の利活用促進」、「森林 ESD の推進」等について理解を深めるため、府民を対象とした関連イベントへブースを出店し、自然素材を活用したクラフト体験の機会を提供するとともに、緑の募金への協力を呼びかける。

【実績】

大阪府立中央図書館共催イベントとして 4/19（火）～5/15（日）の期間中「令和 4 年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール」入選作品展示 と「子どもたちにもっとみどりを～緑の募金を活用したみどりづくりや木の利用を進めるための活動支援紹介～」パネル展示で緑の募金の活用方法等を紹介し、募金箱を設置した。

コロナ禍にて 3 年ぶりに開催された「水都おおさか森林（もり）の市（10/23）」（大阪市北区）や「大阪自然史フェスティバル（11/19・20）」（大阪市東住吉区）にて募金活動・パネル展示等の PR を行った。



大阪府立中央図書館
共催イベント



水都おおさか森林（もり）の市



大阪自然史フェスティバル

(4) ポスターコンクールの実施(予算 150 千円、決算 175 千円)

【計画】

国土緑化運動を推進するためのポスター原画コンクールに参加し、優秀作品を選出し表彰する。

【実績】

(公社) 国土緑化推進機構が実施する「令和 5 年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール」に、大阪府内からは、21 校/89 点（参加総数 215 点 ※1 校につき応募は 10 点まで）の応募があった。10/6 の審査会にて優秀作品を選び推薦した。結果、中央審査会にて下記の 3 名が入賞した。大阪みどりのトラスト協会賞 11 名。



【高等学校の部】
特選 文部科学大臣賞
自然を守る
大阪府立堺西高等学校
1 年 玉置 花怜 さん



【小学校の部】入選
国土緑化推進機構理事長賞
みんなのために
箕面市立西南小学校
4 年 野村 光那 さん



【中学校の部】入選
国土緑化推進機構理事長賞
大樹と赤ちゃん
大阪市立東中学校
3 年 塩尻 聡子 さん

(5) その他(予算 53 千円、決算 56 千円)

【計画】

編集ソフトの年間使用料。

【実績】

編集ソフトのライセンス料を支出した。

5. 推進事務費(予算 6,500 千円、決算 6,444 千円)

【計画】

緑の募金事業推進に伴う事務所経費および人件費など、必要な事務的経費を支出する。

【実績】

事務所経費、人件費等を支出した。

Ⅲ. その他

募金成果の公表

「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」第 21 条に基づき、令和 4（2022）年度に実施した緑の募金事業結果について、当協会ホームページに掲載し、公示する。

令和4(2022)年度「緑の募金」収支決算について

単位：円

科目	2022年度 予算額	2022年度 決算額	差異	2021年度 決算額	備考
	(A)	(B)	(B) - (A)	参考	
I 収入の部					
1. 緑の募金収入	17,000,000	16,761,050	△ 238,950	15,174,596	
2. 助成金等収入	0	0	0	80,000	
3. 運用財産利息収入	0	11	11	0	
4. 雑収入	0	48,051	48,051	18,638	天皇陛下ご下賜金他
当期収入合計 (A)	17,000,000	16,809,112	△ 190,888	15,273,234	
前期繰越収入差額 (B)	△ 2,905,000	△ 2,921,857	△ 16,857	△ 2,257,306	
収入合計 (C) = (A) + (B)	14,095,000	13,887,255	△ 207,745	13,015,928	
II 支出の部					
1. 緑の募金推進事業					
募金活動費	2,592,000	2,624,966	32,966	2,192,914	資材整備他
募金拡大	10,000	4,410	△ 5,590	1,940	
小計	2,602,000	2,629,376	27,376	2,194,854	
2. 緑化推進・森林の整備事業					
緑化事業等交付金	3,230,000	3,083,335	△ 146,665	2,753,363	募金額に相応
堺第7-3区「共生の森づくり」推進	270,000	0	△ 270,000	0	企業からの寄付申込みがなく、助成金が発生しなかった
生駒山系花屏風支援事業	1,200,000	888,321	△ 311,679	981,123	申請が少なく5団体に助成
平和の緑づくり事業	640,000	769,408	129,408	663,507	寄付金増に応じて5件を採択
緑の少年団活動支援事業	1,050,000	605,066	△ 444,934	470,000	交流集会の中止
中央交付金の交付	590,000	608,286	18,286	554,286	募金額に相応
緑化推進運営協議会の運営	24,000	34,560	10,560	0	対面開催の再開
募金・緑化功労者の表彰	6,000	5,876	△ 124	0	4団体に感謝状を贈呈
国土緑化推進機構対応	180,000	225,115	45,115	130,572	国緑会費、協議会運営費、天皇陛下ご下賜金植樹費用等
小計	7,190,000	6,219,967	△ 970,033	5,552,851	
3. 森林環境教育・森林E S D推進事業					
教員向け講習の企画・運営	300,000	304,798	4,798	267,564	講師派遣費用等
研究会等への参加、イベントの開催	100,000	45,727	△ 54,273	56,347	展示用パネル印刷費等
みどりづくりの輪活動支援事業	520,000	612,536	92,536	307,288	4件を採択、専門家相談費用助成5件
「学校に森林と木の香りを」整備事業	620,000	467,118	△ 152,882	601,575	3件申請があり3件を採択
小計	1,540,000	1,430,179	△ 109,821	1,232,774	
4. 普及啓発事業					
会報誌・メールマガジンの発行	135,000	108,408	△ 26,592	145,305	
ホームページ・SNSの運営	116,000	77,328	△ 38,672	117,214	
普及啓発イベントへの参加	44,000	45,054	1,054	0	
ポスターコンクールの実施	150,000	175,060	25,060	165,243	
その他	53,000	55,827	2,827	52,668	PCソフトライセンス料等
小計	498,000	461,677	△ 36,323	480,430	
5. 推進事務費	6,500,000	6,444,107	△ 55,893	6,476,876	
当期支出合計 (D)	18,330,000	17,185,306	△ 1,144,694	15,937,785	
当期収支差額 (A) - (D)	△ 1,330,000	△ 376,194	953,806	△ 664,551	
次期繰り越し収支差額 (C) - (D)	△ 4,235,000	△ 3,298,051	936,949	△ 2,921,857	

貸 借 対 照 表 (案)

巻末資料

(2023年3月31日現在)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部	円	円	
1 流動資産			
現金預金	6,640,104	14,240,364	△ 7,600,260
未収金	3,780,341	1,740,790	2,039,551
立替金	3,638,837	14,107	3,624,730
前払金	381,368	342,005	39,363
流動資産合計	14,440,650	16,337,266	△ 1,896,616
2 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	3,310,418	3,310,418	0
普通預金	10,000	10,000	0
投資有価証券	244,958,000	252,758,000	△ 7,800,000
基本財産合計	248,278,418	256,078,418	△ 7,800,000
(2) 特定資産			
トラストファンド			
普通預金	869,567	678,086	191,481
投資有価証券	22,762,520	23,452,220	△ 689,700
トラストファンド合計	23,632,087	24,130,306	△ 498,219
特定費用準備資金			
地黄湿地保全事業準備資金			
普通預金	2,762,617	4,282,958	△ 1,520,341
大阪里山ネットワーク運営準備資金			
普通預金	3,759,381	3,844,381	△ 85,000
特定費用準備資金合計	6,521,998	8,127,339	△ 1,605,341
特定資産合計	30,154,085	32,257,645	△ 2,103,560
(3) その他固定資産			
備品	218,096	360,003	△ 141,907
車両	1	1	0
長期前払費用	8,830	8,830	0
立木	1,023,000	1,023,000	0
その他固定資産合計	1,249,927	1,391,834	△ 141,907
固定資産合計	279,682,430	289,727,897	△ 10,045,467
資産合計	294,123,080	306,065,163	△ 11,942,083
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	7,299,900	7,305,802	△ 5,902
前受金	599,000	387,000	212,000
預り金	39,822	984,052	△ 944,230
預り補助金	0	4,064,600	△ 4,064,600
流動負債合計	7,938,722	12,741,454	△ 4,802,732
負債合計	7,938,722	12,741,454	△ 4,802,732
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
大阪府出捐金	100,000,000	100,000,000	0
寄附金	126,341,618	126,341,618	0
有価証券評価差額	21,936,800	29,736,800	△ 7,800,000
基本財産合計	248,278,418	256,078,418	△ 7,800,000
ブナの森トラストファンド	15,104,716	15,450,644	△ 345,928
ゼフィルス森トラストファンド	8,527,371	8,679,662	△ 152,291
トラストファンド合計	23,632,087	24,130,306	△ 498,219
指定正味財産合計	271,910,505	280,208,724	△ 8,298,219
(うち基本財産への充当額)	(248,278,418)	(256,078,418)	△ 7,800,000
(うちトラストファンドへの充当額)	(23,632,087)	(24,130,306)	△ 498,219
(うち特定費用準備資金への充当額)	(0)	(0)	0
2 一般正味財産	14,273,853	13,114,985	1,158,868
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	0
(うちトラストファンドへの充当額)	(0)	(0)	0
(うち特定費用準備資金への充当額)	(6,521,998)	(8,127,339)	△ 1,605,341
正味財産合計	286,184,358	293,323,709	△ 7,139,351
負債及び正味財産合計	294,123,080	306,065,163	△ 11,942,083

正味財産増減計算書内訳表(案)

2022年4月1日から2023年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合計
	公 1 自然環境保全事業	公 2 緑の募金事業	共 通	小 計		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	0	0	0	0	3,500,064	3,500,064
基本財産受取利息	0	0	0	0	3,500,064	3,500,064
特定資産運用益	48,400	0	0	48,400	0	48,400
特定資産受取利息	48,400	0	0	48,400	0	48,400
受取金費	2,304,000	0	0	2,304,000	0	2,304,000
会員受取会費	2,304,000	0	0	2,304,000	0	2,304,000
受取補助金等	24,804,291	0	0	24,804,291	0	24,804,291
受取国庫補助金	7,584,491	0	0	7,584,491	0	7,584,491
受取地方公共団体補助金	11,119,000	0	0	11,119,000	0	11,119,000
受取民間補助金	4,200,000	0	0	4,200,000	0	4,200,000
受取受託金	1,900,800	0	0	1,900,800	0	1,900,800
受取負担金	669,850	0	0	669,850	0	669,850
受取負担金	669,850	0	0	669,850	0	669,850
受取寄付金	1,899,709	16,761,050	0	18,660,759	0	18,660,759
受取寄付金	1,899,709	0	0	1,899,709	0	1,899,709
募金収益	0	16,761,050	0	16,761,050	0	16,761,050
雑収益	237,728	48,062	0	285,790	115	285,905
受取利息	0	11	0	11	115	126
雑収益	237,728	48,051	0	285,779	0	285,779
経常収益計	29,963,978	16,809,112	0	46,773,090	3,500,179	50,273,269
(2) 経常費用						
事業費	28,661,681	17,185,306	0	45,846,987		45,846,987
役員報酬	806,400	691,200	0	1,497,600		1,497,600
給料手当	10,009,209	3,981,701	0	13,990,910		13,990,910
福利厚生費	1,415,243	718,928	0	2,134,171		2,134,171
旅費交通費	1,493,606	194,169	0	1,687,775		1,687,775
通信運搬費	434,108	563,309	0	997,417		997,417
減価償却費	121,352	0	0	121,352		121,352
消耗品費	1,241,863	2,303,896	0	3,545,759		3,545,759
印刷製本費	81,660	164,180	0	245,840		245,840
燃料費	156,784	23,641	0	180,425		180,425
賃借料	3,353,988	849,576	0	4,203,564		4,203,564
保険料	588,408	8,287	0	596,695		596,695
使用料	395,936	65,434	0	461,370		461,370
委託費	5,628,346	795,428	0	6,423,774		6,423,774
募金事務費	0	156,679	0	156,679		156,679
諸謝金	1,120,911	175,000	0	1,295,911		1,295,911
支払負担金	1,350,185	180,071	0	1,530,256		1,530,256
支払助成金	203,000	2,502,193	0	2,705,193		2,705,193
支払手数料	229,656	142,931	0	372,587		372,587
緑化事業等交付金	0	3,667,883	0	3,667,883		3,667,883
光熱水費	7,026	0	0	7,026		7,026
租税公課	24,000	800	0	24,800		24,800
管理費					3,267,414	3,267,414
役員報酬					906,400	906,400
給料手当					625,170	625,170
福利厚生費					268,359	268,359
旅費交通費					10,250	10,250
通信運搬費					82,368	82,368
減価償却費					20,555	20,555
消耗品費					122,213	122,213
印刷製本費					41,580	41,580
賃借料					277,692	277,692
保険料					44,000	44,000
使用料					520,190	520,190
委託費					132,000	132,000
支払負担金					85,011	85,011
支払手数料					131,626	131,626
経常費用計	28,661,681	17,185,306	0	45,846,987	3,267,414	49,114,401
評価損益等調整前当期経常増減額	1,302,297	▲ 376,194	0	926,103	232,765	1,158,868
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	1,302,297	▲ 376,194	0	926,103	232,765	1,158,868
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	1,302,297	▲ 376,194	0	926,103	232,765	1,158,868
他会計振替額	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1,302,297	▲ 376,194	0	926,103	232,765	1,158,868
一般正味財産期首残高	16,756,665	▲ 2,921,857	0	13,834,808	▲ 719,823	13,114,985
一般正味財産期末残高	18,058,962	▲ 3,298,051	0	14,760,911	▲ 487,058	14,273,853
II 指定正味財産増減の部						
受取寄付金	191,481	0	0	191,481	0	191,481
基本財産評価損益	0	0	0	0	▲ 7,800,000	▲ 7,800,000
特定資産評価損益	▲ 689,700	0	0	▲ 689,700	0	▲ 689,700
当期指定正味財産増減額	▲ 498,219	0	0	▲ 498,219	▲ 7,800,000	▲ 8,298,219
指定正味財産期首残高	24,130,306	0	0	24,130,306	256,078,418	280,208,724
指定正味財産期末残高	23,632,087	0	0	23,632,087	248,278,418	271,910,505
III 正味財産期末残高	41,691,049	▲ 3,298,051	0	38,392,998	247,791,360	286,184,358